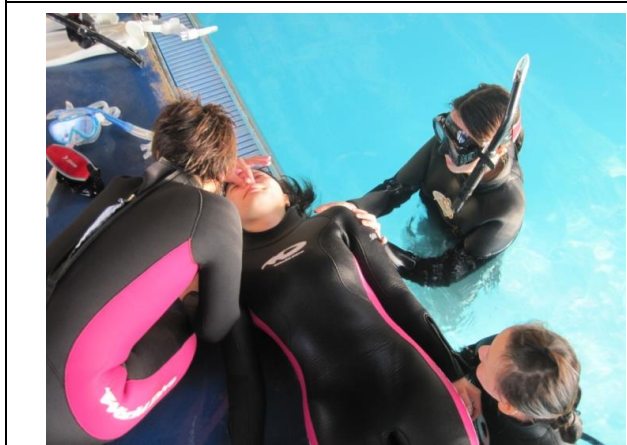


平成 25 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人オーシャンゲート ジャパン
活動テーマ	子どものための陸上・水面安全レスキューサポーター育成&リーダー養成



私たちの国土は、四方を海に囲まれ、川や池などが多い。子どもたちの水にまつわる事故も後を絶たない。子どものための応急手当や水辺での安全レスキューサポート技術の習得と知識の定着が不可欠である。さらに、欧米とは違う生活様式（特に浴室）の特徴などにみる家庭内の危険要因についても、多くの人々の認識を深めることが求められる。子どもの水における事故においては、呼吸原性の状態から見て、まず人工呼吸が優先される必要がある。プールや海でのレスキューサポート講習により、水の事故に対する安全技術の普及と安全知識の習得を、様々な状況を想定しながら、段階的システムによって技術と知識の習得を目的とした。連動的なレスキューサポートの方法、グループでの役割を変えながらの対応や協力の方法による連携の必要性と有用性も確認できた。今回の助成事業においても、当初予定していた参加者をはるかに超える参加者を得た。海況不安や度重なる天候不順や台風の影響にも関わらず、多くの安全意識の高い参加者を得ることができたことに、大変大きな意味がある。初めての参加者には、プールでの技術習得の後、海洋において実践的な安全管理や危機対応の方法を、様々な状況設定を行いながら実施できた。また、グループでの連携体制作りや日用品を用いた救助方法も実施した。継続教育としての参加者には、海洋において段階的で、より実践的な安全レスキューサポート技術の定着と、グループ単位の役割を変えながらの安全救助法や曳航そして陸上への引き上げへの一連の流れを実施できた。また、そのサポーターたちをまとめていくリーダーの養成も今回実施できた。グループコントロールやポジショニングについての理解の後、様々な設定をしながら問題の解決に導く基礎的な演習を実施した。また、習う立場から、安全管理する立場へと変わり、取り組みやすい段階的な継続教育によって、安全意識と技術をより深く浸透できた。さらに、今後も継続的な安全教育の必要性を、参加者ととともに実感できたことの意義は極めて大きい。